

一般公開講座

# 仏教とその源流

## ほとけを護る「天」と 古代インドの神々



京都大学  
文学研究科准教授  
天野恭子

弘法大師空海は密教の教えとともに「曼荼羅」を日本に伝えました。曼荼羅は如来を菩薩や明王などさまざまなほとけがとりまく、ほとけの世界を表しています。日本でもよく知られている帝釈天や多聞天などの「天」は、お釈迦様の修行を護る役割を持っていますが、これらの「天」は仏教以前に古代インドで信仰されていた神々に由来しています。ヴェーダ文献に記された神々のエピソードを交え、古代インドの信仰がどのように形を変えて仏教に受け継がれたかを辿ります。



日時

2024.11/24(日) 13:00~14:00

講演後、本堂にて護摩祈祷にご参加いただけます。

参加費

事前申し込み不要／聴講無料

会場

川崎大師京都別院 笠原寺

〒607-8172 京都市山科区大宅岩屋殿2番地

[TEL] 075-572-9400 [URL] <https://ryugennji.com/>



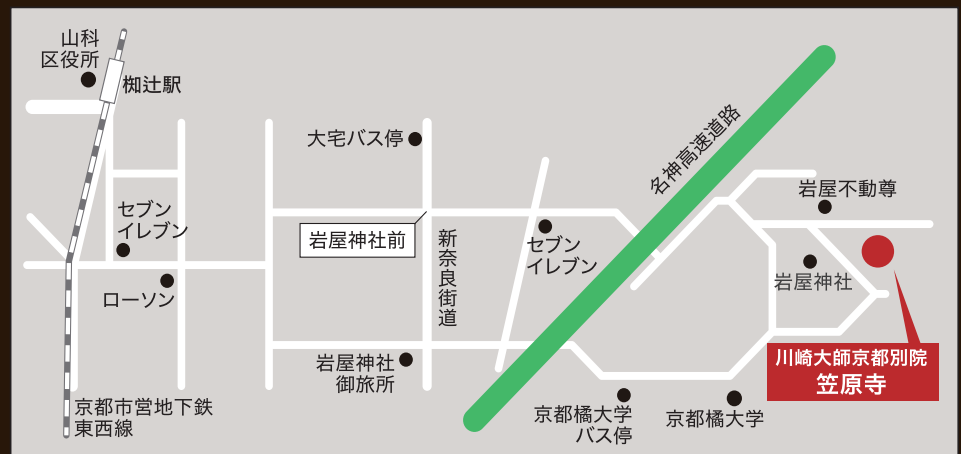
公式サイト



X (旧Twitter)



Instagram



講演についての問い合わせ：ryugennji-kyoto@sky.plala.or.jp(笠原寺)

[主催] 笠原寺仏教講演会実行委員会

[共催] 天野恭子(京都大学大学院文学研究科・准教授)